

平成28年
9月号

太陽の都 だより

発行所 ● 医療法人社団 博栄会 介護老人保健施設「太陽の都」〒115-0051 東京都北区浮間 2-1-13 TEL03-3558-8881 FAX 03-3558-8831

責任者 相師

行事報告

八月六日の土曜日に、今年も当施設屋上に「納涼祭」を開催しました。

屋上に特設ステージを作り、ピエロのパフォーマンスあり。フラダンスあり。スコップ三味線あり。そして「都バンド」の歌と演奏あり。と、多彩な企画でお楽しみいただきました。職員お手製のお神輿の前で写真撮影を行いました。まだ空が明るい六時半頃からステージが始まり、午後七時を過ぎると戸田橋の花火大会も始まり「ドーン！」という音と共に上がる花火をみながら、演目に目を注いでいました。ご利用者様も、中々花火は鑑賞出来なかった物の、「バンドが聞いて良かった」「フラダンスが楽しかった」「面白い風船を貰っちゃった」と大好評でした。私達スタッフは「夏の夜のひとときを風物詩である花火を利用者様に観賞し、楽しんで貰いたい」と考えておりましたが、目の建物の影響で以前より花火は見えずらくなりましたが、他にもご利用者様ご家族様共に笑顔で楽しんで頂ける様な企画を来年も考えたいと考えております。



特集

◎ 敬老の日

九月の第三日曜日は、敬老の日。長年社会のために働いてきたお年寄りを敬い、長寿を祝う国民の祝日です。各地で敬老にちなんだ行事が行われ、家庭では、父母や祖父母をねぎらってお祝いを贈ったり、ごちそうを作ったりします。「敬老の日」の由来と変遷

敬老の日といえは、九月十五日を思い浮かべる方も多いと思いますが、これは一九五一年、全国社会福祉協議会により「としよりの日」が制定されたのが始まりで、老人福祉法の制定に伴って「老人の日」と改称され、一九六六年に九月十五日が「敬老の日」として国民の祝日になり、親しまれてきたからです。

その後、祝日法改正（いわゆるハッピーマンデー法）によって、二〇〇三年から「敬老の日」が九月の第三日曜日に変更され、老人福祉法の改定によって九月十五日は「老人の日」、九月十五日～二十一日は「老人週間」となりました。九月十五日の由来は、五九三年に聖徳太子が身



寄りのない老人や病人のための救護施設「悲田院」を設けた日といわれていますが、諸説あります。ところで何歳からが老人？老人の捉え方は人によって様々です。心身共に若々しく老人と呼ぶのは憚られる方もたくさんいます。よく「もう〇〇が受けられる年齢だから」などと言いますが、一般的には何歳からが老人なのでしょう？身近な例では、映画のシニア割引が六〇歳以上、東京都のバスや地下鉄に適用されるシルバーパスは七〇歳以上、JTB各社では五〇歳ぐらいから各種割引があります。以下は参考までに・・・

・国連の世界保健機構(WHO)の高齢者の定義。六五歳以上で、六五〜七四歳・前期高齢者七五〜八四歳・後期高齢者、八五歳以上

・日本の行政制度では、老齢基礎年金は原則六五歳から支給。介護保険制度の第一号被保険者は六五歳以上。税制上の老人扶養親族は七〇歳以上。長寿医療制度(後期高齢者医療制度)は七五歳以上となっていますが、これからもっと高齢化が進むと、変わっていくかもしれません。いずれにしても、大切なのは、お年寄りに対して労りや感謝の気持ちを表すこと。食事会を開く、贈り物をする、家事を手伝う、住環境をバリアフリーにするなどその方法は様々です。各地で敬老にちなんだ行事が催されることも多く、敬老の日を通じて高齢者をとりまく社会問題を考えるきっかけにもなるでしょう。



クラブ報告・予定

☆書道クラブ

二階は毎週月曜日の十五時より、書道クラブを行っております。

三階は毎週木曜日の十三時三十分より食堂にて行っております。

利用者様の作品は各フロアに展示されております。ご来所された際には是非皆様の力作をご覧になって下さい。

☆映画会

三階は第三金曜日、一階は第四日曜日、各階で大型スクリーンと大型スピーカーを使用し、映画館で見ている様な雰囲気を利用者様に味わって頂けるようにしています。

毎回、多くの利用者さまが楽しみにされています。見たい映画のリクエストが御座いましたら、職員に御声掛け下さい。

☆茶道クラブ

毎月第四土曜日、十五時半頃よりデイサービス食堂にて行っております。

浮間中学茶道部の皆様がボランティアで来られ、お茶を点てながら利用者様と楽しく会話されております。

行事予定

二階、三階共、敬老会開催を予定しております。皆様に楽しんで頂ける様企画をいろいろ考えておりますので当日まで楽しみにして下さい。

<近況報告>

様・ご家族様

『こちらのスペースに当施設職員よりご家族様へ近況報告を添えさせて頂いております。』

担当：